

平成25年  
9月定例会

## 一般会計補正予算(第3号)等の議案を原案可決

平成25年第7回(9月)定例会は、去る9月3日から9月25日までの23日間の会期日程で開かれました。

今回の定例会には、「石垣市債権管理条例の一部を改正する条例」等の条例議案3件、「平成25年度石垣市一般会計補正予算(第3号)」等の予算議案9件、「平成24年度石垣市一般会計歳入歳出決算認定について」等の決算議案9件、その他議案7件の計28件の議案が市長より提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意・認定・承認及び報告されました。

なお、本会議の議決にあたり、総務財政委員会には、「平成25年度石垣市一般会計補正予算(第3号)」等4件の議案を付託。経済民生委員会には、「平成25年度石垣市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)」等10件の議案を付託。建設土木委員会には、「平成25年度石垣市港湾事業特別会計補正予算(第2号)」等9件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案可決すべきものと決定されました。

議員提出議案については、「義務教育費国庫負担堅持及び2分の1復元に関する意見書」等の意見書3件、「MV22オスプレイ追加配備に対する抗議決議」及び「玉津博克教育長に対する不信任決議」あわせて5件の意見書・決議がそれぞれ原案のとおり可決されました。なお、議員提出の動議案件については、合計6回の無記名投票表決が実施されました。

9月17日から9月20日の4日間の日程で行われた一般質問では、16人の議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。

庁舎建設基金積立金を増額計上  
平成25年度一般会計  
補正予算(第3号)  
原案可決

九月定例会では、総務財政委員会(平良秀之委員長)に「平成25年度一般会計補正予算(第3号)」など四件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

今回の一般会計補正は、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ九億一、〇一〇万五千円を追加し、予算の総額を二四三億七、五七九万八千円と定めるものです。その主な歳出の内訳としては、「庁舎建設基金積立金」一億九、九九九万九千円、「新給食センター開所準備事業」九、五八七万九千円、「子ども・子育て支援事業計画策定事業」五〇三万一千円などが計上されており、

執行当局においては、現在、新庁舎建設基本構想の策定作業を進めており、今回の庁舎建設基金積立金を含めると庁舎建設のための基金の合計額は、約十億円

となることから、予算の面でも新庁舎建設に向けての準備が進んでいることがうかがわれます。

議員提出議案で  
無記名投票六回

今回の定例会では、議員から動議のあった「副市長の辞職勧告決議」及び「教育長の不信任決議」の二件の表決について、無記名投票表決が合計六回実施されました。

本市議会における表決の方法としては、議長が異議の有無を問う「簡易表決」、問題について可とする者の起立を求める「起立表決」のどちらかによる場合がほとんどですが、この二件については、議員から記名投票と無記名投票の二つの要求が同時に出されたことか



計6回実施された無記名投票表決の様子

ら、まず記名投票とするか無記名投票とするかを無記名投票にて決定することになりました。

今回の場合は、この記名投票・無記名投票のどちらの方法によるかを決定するための無記名投票が三回行われ、結果として全て無記名投票とすることになったことから、本題である案件への賛成・反対の投票は無記名投票で三回行われました。議会ではこのように表決の方法も様々であり、議員の要求によってその手法が選択されるといえます。

石垣市地方港湾審議会  
委員を推薦

今定例会の最終本会議において、石垣市地方港湾審議会の委員として次の議員の推薦を決定しました。

仲 嶺 忠 師 氏  
松 川 秀 盛 氏

人権擁護委員の  
候補者を推薦

今定例会の本会議において、人権擁護委員の候補者として次の方の推薦が同意されました。

東 迎 琴 美 氏